

FE 富士電機スーパーコンサート

エサ=ペッカ・サロネン 指揮 フィルハーモニア管弦楽団

Esa-Pekka Salonen, Principal Conductor and Artistic Advisor
Philharmonia Orchestra

名匠が放つ鮮烈な響き

Leif Ove Andsnes
Piano

Akiko Suwanai
Violin



© Okazaki Akira

© Clive Barker

© Ritsuka Saito

2013年

2月8日(金) 19:00開演(18:30開場)

サントリーホール

7:00p.m., Friday, February 8 at Suntory Hall

ベートーヴェン: 劇付随音楽「シュテファン王」序曲

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第4番

ピアノ: レイフ・オヴェ・アンズネス

マーラー: 交響曲第1番「巨人」

Beethoven: Overture "King Stephan" Op.117
Beethoven: Piano Concerto No.4 in G major, Op.58
Leif Ove Andsnes, Piano

Mahler: Symphony No.1 in D major, "Titan"

SY22,000 AY18,000 BY14,000 CY10,000 DY7,000

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員料金 SY21,000 AY17,000 BY13,000 CY9,000 DY6,500

※先行販売で満席となった座席は、以降販売されない場合がございます。
※インターネット販売で座席選択が可能になりました。(一部公演は除きます。)

主催 ジャパン・アーツ 後援 プリティッシュ・カウンシル/フィンランド大使館/ノルウェー王国大使館

特別協賛 FE 富士電機

協力 ユニバーサル ミュージック/ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

9月15日(土) 前売開始 夢倶楽部WEB 8/31(金)・夢倶楽部TEL 9/1(土)
ジャパン・アーツびあネット会員 9/2(日)

チケットお申込み

ジャパン・アーツびあ (03)5774-3040 www.japanarts.co.jp

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

チケットびあ pia.jp/t 0570-02-9999 [Pコード 178-535]

東京文化会館チケットサービス (03)5685-0650

イープラス eplus.jp ローソンチケット (0570)000-407 [Lコード 37718]

2月10日(日) 14:00開演(13:00ロビー開場)

東京芸術劇場コンサートホール

2:00p.m., Sunday, February 10 at Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

シベリウス: 交響詩「ポホヨラの娘」

シベリウス: ヴァイオリン協奏曲

ヴァイオリン: 諏訪内晶子

ストラヴィンスキー: バレエ音楽「春の祭典」

Sibelius: Tone poem "Pohjola's Daughter", Op.49
Sibelius: Violin Concerto in D minor, Op.47
Akiko Suwanai, Violin

Stravinsky: "Le sacre du printemps"

SSY22,000 SY19,000 AY15,000 BY11,000 CY7,000 DY4,000

東京文化会館友の会割引有り。東京文化会館チケットサービスの取り扱い。

主催 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団) 後援 プリティッシュ・カウンシル/フィンランド大使館

特別協賛 FE 富士電機 協力 ユニバーサル ミュージック

9月4日(火) 前売開始 芸術メンバーズ先行 8月28日(火)
東京文化会館友の会会員先行発売 9月1日(土)

チケットお申込み

東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010 <http://www.geigeki.jp/t/> (PC)

JTBエンタメチケットデスク 0570-030311(10:00~18:00) <http://www.jtb.co.jp/ticket/>

チケットびあ pia.jp/t 0570-02-9999 [Pコード 177-099]

東京文化会館チケットサービス (03)5685-0650

イープラス eplus.jp ローソンチケット (0570)000-407 [Lコード 37444]

活動のエッセンスが凝縮された日本公演

後藤菜穂子 (音楽ライター/在ロンドン)

サロネンとフィルハーモニア管弦楽団のコンビも早いものでこの秋で5年目に突入する。その間に筆者が聴いたなかで心に残る名演としては、息もつかせぬほど精緻でスリリングだったマーラーの交響曲第6番、モダンで洗練されたシベリウスの交響曲第2番、そして昨シーズンのハイライトであった映像付きのバルトークの《青ひげ公の城》が挙げられる。

サロネンの指揮のアプローチは、作曲家の視点から作曲のプロセスを論理的に分析し、きわめて緻密に音楽を組み立てていくものだ。しかしぎ指揮台に立つと、そうしたアプローチを超えた異次元のダイナミックなドラマを繰り広げてくれるのが彼の大きな魅力といえよう。

フィルハーモニア管とは就任以来、首席指揮者およびアーティスティック・アドバイザーとして大規模な年間プロジェクトを企画、オーケストラとしての特色を強く打ち出してきた。ウィーン世紀末の音楽、バルトークのシリーズ、そして2013年はルトスワフスキ生誕100周年記念のシリーズを手がける。ま

た2013年の《春の祭典》の初演100周年を記念したコンサートもハイライトの一つだ。ここ一年はベートーヴェンにも力を入れており、10月にはボンのベートーヴェン音楽祭で交響曲ツィクルスを行う。さらに、フィルハーモニア管は独自のデジタル・インストレーションのプロジェクトでも高い評価を受けており、数年前の《春の祭典》をもとにしたRE:RITEに続き、この夏はロンドンの科学博物館においてホルストの《惑星》の演奏を映像化した展示が人気を呼んでいる。

3年ぶりとなる来日公演でも、こうした最近の活動のエッセンスが詰まったプログラムが用意されている。ソリストについても、ピアノのレイフ・オヴェ・アンズネスはサロネンとは共演も多く、この秋のシーズンの開幕公演でもベートーヴェンで共演、また諏訪内晶子もフィルハーモニア管のレギュラーなソリストのひとりであり、サロネンとともにしなやかにスタイリッシュで演奏を生み出してくれることだろう。

エサ=ペッカ・サロネン

首席指揮者&アーティスティック・アドバイザー
Esa-Pekka Salonen (Principal Conductor & Artistic Advisor)

ヘルシンキ生まれの指揮者・作曲家。シベリウス・アカデミーに学び、1979年、フィンランド放送響を指揮して指揮者デビュー。1985年~95年スウェーデン放送響の首席指揮者、また1992年~2009年までロス・アンジェルス・フィルの音楽監督を務め、桂冠指揮者となった。

2008年9月フィルハーモニア管弦楽団の首席指揮者&アーティスティック・アドバイザーに就任。

多数の現代作品の初演をはじめとする現代音楽に対する解釈もきわめて高く評価されている。また、受賞歴としてキギアール音楽院からシエナ賞、英国のロイヤル・フィルハーモニック・ソサイエティからオペラ賞・指揮者賞、フランス政府から芸術文化勲章「オフィシエ」等がある。

レイフ・オヴェ・アンズネス(ピアノ)

Leif Ove Andsnes, Piano

ノルウェー生まれ。ベルゲン音楽院に学ぶ。「威厳ある優美さ、力強さ、洞察力を有するピアニスト」(ニューヨーク・タイムズ)と評価され、世界的に最も魅力的な音楽家のひとりとして国際的な名声を獲得している。

2010/11年シーズンに、ベルリン・フィルのピアニスト・イン・レジデンスとして、ブラームスのピアノ協奏曲第2番(ハイティンク指揮)を共演の他、室内楽、リサイタルを含むプログラムを演奏。また、自身が芸術監督を務めるリゾール室内音楽祭は、ブリュッセル、ロンドン、ニューヨーク等で公演を実施。

2002年、ノルウェーで最高の名誉とされるノルウェー王国聖オラフ勲章を受賞のほか、受賞歴多数。

諏訪内晶子(ヴァイオリン)

Akiko Suwanai, Violin

東京生まれ。1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、メータ、デュトフ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。マールボロ、ロッケンハウス、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。

2012年春には日本で4年ぶりとなるリサイタル・ツアーを行い大成功を収めたほか、NHK交響楽団とジェームズ・マクミラン作曲のヴァイオリン協奏曲を、作曲家自身の指揮により日本初演した。同年5月には、エリザベータ王妃国際コンクールヴァイオリン部門で審査員を務めた。

テッカより13枚のCDをリリース。使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1714年製作のストラディヴァリウス「ドルフィン」。

フィルハーモニア管弦楽団

Philharmonia Orchestra

1945年EMI(当時の英コロムビア)の芸術部長W.レグによって創設。

その後R.シュトラウス、カラヤン、トスカニーニ、フルトヴェングラー等の巨匠を指揮者に招き、その名演と共に一躍欧州楽壇の注目の的となった。特にカラヤンとは多くの録音を残し、欧米各地に演奏旅行も行った。その後クレンペラー、ムーティ、シノーボリが首席指揮者となり、90年はシノーボリ、2007年はインバルの指揮により、東京で『マラー・チクルス』の公演を行なった。1997年にドホナーニが首席指揮者に就任。さらに2008年エサ=ペッカ・サロネンが首席指揮者&アーティスティック・アドバイザーに就任。現在はサロネンの他に終身名誉指揮者にドホナーニ、桂冠指揮者にアシケナージという陣容となっている。

フィルハーモニア管弦楽団2013年2月日本公演日程

- 2月2日(土) シンフォニア岩国コンサートホール シンフォニア岩国 0827-29-1600
- 2月3日(日) 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール
芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255
- 2月4日(月) 札幌コンサートホールKitara Kitaraチケットセンター 011-520-1234
- 2月6日(水) 愛知県立芸術劇場コンサートホール テレビ愛知事業部 052-243-8600
- 2月7日(木) 東京オペラシティ 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999
- 2月8日(金) サントリーホール ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040
- 2月9日(土) 横浜みなとみらいホール 横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-20000
- 2月10日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

《2月8日公演 特別割引チケット》

(ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付)

◎学生席(各ランクの半額) 夢倶楽部会員の方も、学生券は一般価格の半額です(残券がある場合)に限り、11/1(木)10:00より電話にて受付いたします。社会人学生を除く25歳までの学生が対象です。当日は入口にて学生証を拝見いたします。(学生証がない場合、一般価格との差額をいただく場合がございます。)

★シニア: チケット=65歳以上の方はS席とA席を会員料金でお求めいただけます。

★車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。詳しくはお問い合わせください。

twitter @japan_arts

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。

- ① やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。② いかなる場合も再発券はできません。紛失等には十分ご注意下さい。③ 演奏中は入場できません。④ 未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお、就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑤ 全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥ 場内での写真撮影・録音・録画、携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑦ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。

DECCA 4年ぶりとなる最新アルバム! 好評発売中

諏訪内晶子/エモーション

(1)バルトーク(セーケイ編): ルーマニア民俗舞曲
(2)エネスコ: ヴァイオリン・ソナタ第3番
《ルーマニアの民俗様式で》
(3)ファリャ(クライスラー編): スペイン舞曲
(4)ファリャ(コハンスキ編): スペイン民謡組曲
(5)シヨミナード(クライスラー編):
スペインのセレナード
(6)クライスラー: シンコペーション
(7)ドビュッシー(ハルトマン編): 亜麻色の髪の乙女

諏訪内晶子 (ヴァイオリン)
イタマル・ゴラン (ピアノ)
録音: 2012年1月9-13日 パリ、ノートルダム・デュ・リバン教会

http://www.universal-music.co.jp/classics/ 発売・販売元: ユニバーサル ミュージック合同会社

「最も人間的で精神の深い部分に訴えかけてくる音楽」(アンズネス)

この堂々たる威厳と風格。ソニー・クラシカル移籍第1弾。世界20万人の音楽ファンを虜にするアンズネスのベートーヴェン・ジャーニー、待望の協奏曲全集録音で始動。

レイフ・オヴェ・アンズネス

ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第1番&第3番

レイフ・オヴェ・アンズネス(ピアノ&指揮)
マラー・テンパー・オーケストラ

〔録音〕2012年5月22&23日 プラハ、
ルドルフィヌムでのライブ・レコーディング

9.26発売 SICC2012B ¥2,625(税込)

ソニー・クラシカルへのサロネン/ストラヴィンスキー録音の自白・超名演!
ストラヴィンスキー: 春の祭典&三楽章の交響曲 本日公演収録
エサ=ペッカ・サロネン(指揮) フィルハーモニア管弦楽団 SRCR2705 ¥2,100(税込)

明日へ、ひとつの
旋律になる。

富士電機は、電気、熱エネルギー技術の革新で、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。エネルギーを最も効率的に利用できる製品を通じて、世界のみなさまを支えています。

FE 富士電機
Innovating Energy Technology